事例No.	2550
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	「共助組織」代表者ネットワーク会議

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口 ・福祉・介護

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

「共助組織」代表者ネットワーク会議

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

公益社団法人 sweet treat 311　　宮城県石巻市

概　　要



東日本大震災で被災したこどものケアと学習の機会を設けるために設立。現在は石巻市雄勝町を拠点に、地域資源を生かした学びの場を創造し、漁師や地域の方々と協働で運営している。全国だけでなく世界から人が訪れており交流人口増に寄与。築90年の廃校を活用し2015年夏オープン予定のこどもたちの複合体験施設モリウミアス（森と海と明日へ）では雇用も創出。世界へ、そして世界からのゲートウェイとなるグローバルで新しいまちづくりを目指している。

評価された点



・息長く続けていく事、そして課題は時と共に変化しながら且つ、深化する両面に取り組んでいる。高く評価したい。
・学校再生というプロジェクトの過程で地域の人を巻き込みながら地域再生につなげている。
・子どもの育成に焦点を当て、全国の交流拠点として廃校を上手に活用している。今後の地域再生モデルとなる。
・もっとも大切な子供のこころのケアを提供する事は震災後の大きな課題。この活動が拡大される事を願っています。

「共助組織」代表者ネットワーク会議　　秋田県横手市

概　　要



地域の諸課題を地域の手で解決していく仕組みづくりを構築するとともに、地域に必要なサービスの提供と活性化を図ることを目的に、平成24年に大森町保呂羽、山内三又、山内南郷、増田町狙半内の4地区に共助組織が結成され、「地域おたすけ隊」と称する実働部隊が、高齢者世帯の屋根の雪下ろしなどを有償ボランティアとして実施している。

評価された点



・買い物支援、雪下ろし支援、見守りなどの共助に係る横手モデルは、過疎化、高齢化の進む地域における自主的な取り組みであるとともに、新しい公共を担うものとして評価される。
・公助・共助、多様な組み合わせによる「力」の助け合いが求められている。必要とする時に、必要な「力」を寄せ合わせる実働のあり方を、多くの地域の参考例としても貢献。
・高齢化に向かう共通の課題に対して、当該人の活用を積極的に取り組んでいる。
・地域の元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える仕組みが、今後の高齢化社会に合致する。また、有償ボランティアの仕組みも地域経済に寄与する。